

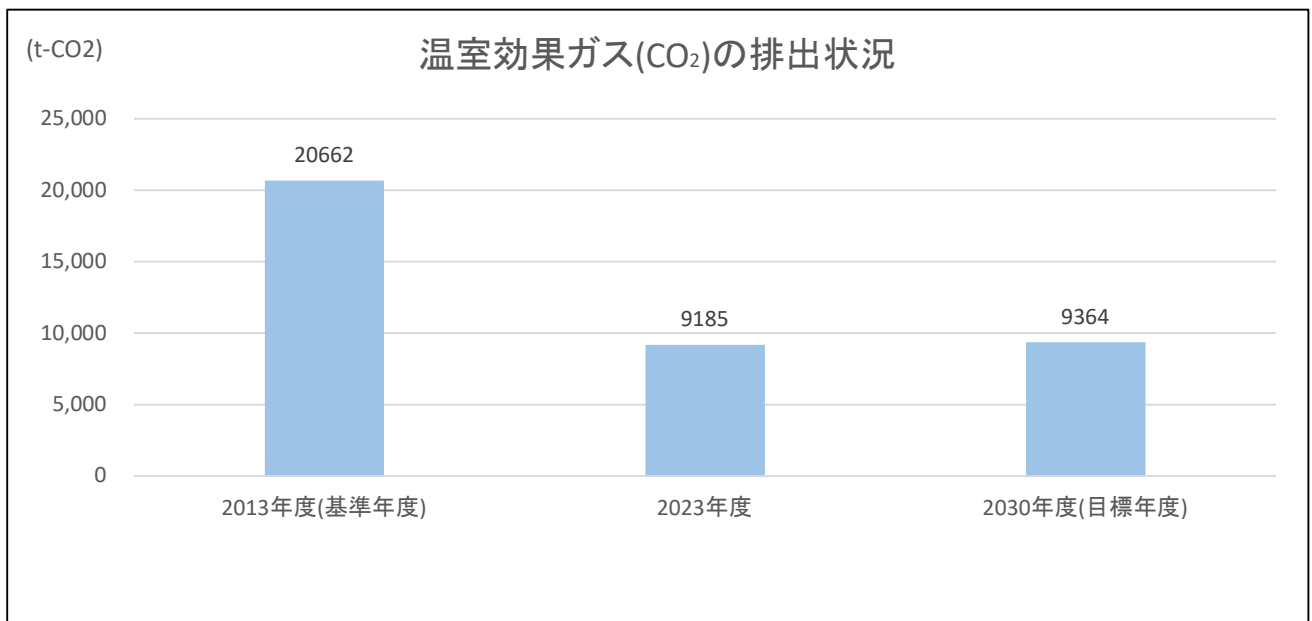
北薩広域行政事務組合

北薩広域行政事務組合における温室効果ガス排出量について

2023年度（令和5年度）の本団体の事務及び事業に伴い排出された温室効果ガスの排出量は9,185.1t-CO₂となり、基準年度である2013年度（平成25年度）比で11,476.9t-CO₂、55.5%の削減となりました。

2023年度の温室効果ガス等削減状況

基準年度 2013年度	点検年度 2023年度	2013年度比		2022年度比		目標年度 2030年度
		削減量	削減率	削減量	削減率	
20,662.0t-CO ₂	9,185.1t-CO ₂	11,476.9t-CO ₂	55.5%	576.1t-CO ₂	5.9%	9,364.0t-CO ₂



総評

2023年度（令和5年度）における本組合事務事業に係る「温室効果ガス総排出量」は、9,185.1t - CO₂となり、基準年度である2013年度（平成25年度）の排出量20,662.0t - CO₂と比較して、11,476.9t - CO₂（削減率：55.5%）削減となりました。

本組合の特徴として、「一般廃棄物の焼却」が全体の約9割を占めることから、焼却される一般廃棄物の減少及び再資源化の推進による廃プラスチック類の焼却処理量の減少が「温室効果ガス総排出量」の削減に影響しています。

また、2021年度（令和3年度）に稼働した新ごみ焼却施設では新たにごみ発電設備が備わり、電気の自家消費割合が9割に達したことから電気購入量の減少も影響しています。

今後は、これまでの取組を確実に推進するとともに、施設の管理運営においては、更なるごみ分別の普及や啓発活動に努め、温室効果ガスの排出量の削減に努めます。

削減状況

本組合の「温室効果ガス総排出量」の主な要因である可燃ごみの焼却量は2022年度（令和4年度）22,542 t（うち廃プラスチック3,021 t）から2023年度（令和5年度）21,809 t（うち廃プラスチック2,748 t）に減少したことから、温室効果ガス総排出量の削減率は5.9%となりました。

温室効果ガス排出量増減要因

2022年度（令和4年度）と比較して削減の主な要因は、「一般廃棄物の焼却」における廃プラスチックの可燃ごみに占める組成割合が13.4%から12.6%に減少（ごみ分別の取組）したことであり、約750t - CO₂（増減率：9%減）の削減となりました。

また、増加の要因は、各施設経費節減に努め電気の購入量は減少しましたが、電気事業者（九州電力）の基礎排出係数が上昇したことにより、約200t - CO₂（増減率：34%増）増加しました。

実施している取組(措置)及び評価

温室効果ガス排出量の主な要因である可燃ごみ搬入量の削減については、構成市町とともに取り組んでいるごみ減量の施策及び本組合でのごみの組成調査の実施により、3%の可燃ごみを削減しました。他にも施設見学での環境教育の充実、節電（施設の適正な運転管理、冷暖房の管理、照明機器の管理）、自動車等の適正運転、再生紙の使用促進及び使用量の削減などの取組が、削減に繋がったと考えられます。

今後の取組

温室効果ガス排出量の主な要因であるごみ搬入量を更に削減するため、2026年度（令和8年度）稼働予定の新ストックヤード棟でのリユースを通じた環境教育の充実及び2026年度（令和8年度）に構成市町と共同してプラスチック製品資源化の方針決定に取り組めます。

また、老朽化しているし尿処理施設において、当該施設の基幹的設備改良工事を検討しており、温室効果ガスの排出抑制も考慮した施設に整備する予定です。

今後も引き続き、本組合のごみ減量化の取組を推進し、日常業務においても冷暖房の管理などの節電や、公用車の燃料等の節約等に努め、温室効果ガスの排出量の削減に努めます。

項目分類別排出量

項目分類	排出量(t-CO ₂)		基準年度比 CO ₂ 増減率	排出量(t-CO ₂)		前年度比 CO ₂ 増減率
	基準年度 2013年度	点検年度 2023年度		前年度 2022年度	点検年度 2023年度	
ガソリン	7.4	4.8	-35.2%	5.5	4.8	-11.9%
灯油	0.3	19.9	5697.1%	10.0	19.9	100.0%
軽油	12.5	12.8	2.8%	14.2	12.8	-9.7%
A重油	520.2	319.7	-38.5%	336.0	319.7	-4.8%
LPG	0.0	0.0	-64.2%	0.1	0.0	-68.1%
電気	2,903.9	783.0	-73.0%	582.8	783.0	34.3%
自動車の走行	0.3	0.2	-30.1%	0.2	0.2	-19.7%
一般廃棄物の焼却(廃棄物種類別)	16,680.7	7,598.2	-54.4%	8,352.0	7,598.2	-9.0%
一般廃棄物の焼却(施設種類別)	485.8	396.2	-18.4%	409.2	396.2	-3.2%
下水・し尿の処理	50.2	49.6	-1.3%	50.8	49.6	-2.3%
し尿・雑排水の処理	0.6	0.6	-6.7%	0.6	0.6	0.0%
自動車用エアコンディショナーの使用・廃棄						
水道・下水道の使用						
合計	20,662.0	9,185.1	-55.5%	9,761.2	9,185.1	-5.9%